第二期長野市農業振興アクションプラン(概要)

E I	大項目	中項目	No.	小項目 (個別事業シート)		現況等の		D2	D/I	DE	D/	D.4	D/
	①農業の多様な担	ア 中心的な担い手と	1	認定農業者	項目 認定農業者	単位人	R2 340	R3 310	R4 308	R5 305	R6 326	R4 ・ (同右)	【・認定農業者の掘起し
	手の確保と育成	なる農業者の育成		BU/CIZON I	認定農業者の耕作面積	ha	688. 6	735	717	793		・(同右)	・認定後3年目の者を対象に経営状況のチェックと面談にるフォローアップ
			2	農業者の組織化	 農業法人化事業	件	0	0	0	0	0	・新規認定29人(未継続者31人) ・ (同右)	・新規認定30人 ・共同利用の農業用機械(コンバイン)の導入に対する支持
			-	及来自砂心吸忆	集落営農数	¦: 件	12	13	12	11	11	(1214)	実施
					農業機械化補助金	件	1	2	1	3	4		
			3	農作業支援	機械作業事業/利用農家数	戸	2, 081	2, 191	2, 260	2, 159	1, 998	▼・お手伝いさん事業雇用契約者数199人 ▼・(同右)	・お手伝いさん事業雇用契約者数158人・お手伝いさん募集を広く情報発信
					- 農作業お手伝いさん事業・専門作業事業/利 用農家数		435	359	393	297	343		・研修会(延べ参加者数372人)・ほ場巡回(春8回、秋10回)
	ļ	イ 新たな担い手の確	4	新規就農者	新規就農者数(給付金等対象者)	人	10	9	7	7	9	・(同右)	・新規就農希望者の相談に対応し、本人の適性、希望する
		保										・長野地域Web就農相談会12回、就農希望者相談37件 ・新規就農者数46人	農形態等に応じて提案 ・長野地域就農相談会7回、就農希望者相談12件 ・新規就農者数64人
												・45歳未満で退職等に伴い親元就農する認定農業者の子 (孫)の親元就農を支援	▼・50歳未満で退職等に伴い親元就農する認定農業者の子 「孫」の親元就農を支援
			5	農業研修センター	研修コース受講者数	7.	61	70	103	80	85	・親子農業体験3回	・親子農業体験6回(単発講座充実)
					 特別講座受講者数	<u>社</u> 人	109 109	2 <u>1</u>	1 225	<u>1</u> 246	145 145	・(同右)	▶・受講生に今後の農業へのかかわり方などに関するアンケートを実施。研修内容の改善や農地取得等の情報提供に活用
			6	企業の農業参入	農地所有適格法人	法人	18	19	18	18	19	・ (同右)	・農業研修センターの企業育成コース1社受講
					一般法人	法人	28	28	34	42	46	・ (同右)	・法人の農家創設に総合的に対応
		ウ 農業者を支える団 体の活動支援	7	農業協同組合	農業協同組合正組合員戸数	戸戸	13, 871	13, 547	13, 770	13, 360	12, 651	・農協と市で農業振興アクションプランに係るワーキンググループを4回開催	・農協と市で農業振興アクションプランに係るワーキング ループを1回開催
					農業協同組合営農指導員数	 _{変円}	40	37	38	39	70	・(同右)	・農協が栽培講習会、税務相談など各種講習会等を開催
				- 実ケ曲光ネながみ	農業協同組合販売品販売高	億円	109.2	102. 3 85	109.5	111.3	121.4	· 女相辞典老游员之子。 以十合 (7月)	近相計曲者游品会(7月)
			8	育年辰業有及びダ 性農業者の活動支援	「農業青年協議会会員数 「 	^	81	85	80	85	89	・新規就農者激励スポーツ大会(7月)・ (同右)・ (同右)	・新規就農者激励会(7月) ・長野市農業フェアに出展(10月) ・市長懇談会(3月)
					農村女性ネットワーク研究会会員数		59	57	57	41	44	・地産地消料理講習会12回(6~2月)、小学生の味噌づくり 指導11回(11~1月) ・(同右)	・地産地消料理講習会10回(7~1月)、小学生の味噌づく 指導8回(12~1月)
<u>ي</u> ح	②農地の有効利用 と農業生産基盤の 整備	ア 優良農地の確保と 農地の有効利用	9	優良農地の確保	-							・ (P)石/ ・農家住宅等建設の農振除外3ha ・農業用倉庫等建設の軽微変更25a	・市民向け講座「食農ときめき講座」7回(4~1月) ・農家住宅等建設の農振除外1.7ha ・農業用倉庫等建設の軽微変更97.1a
		120 0 1 137/3137/3	10	耕作放棄地対策	荒廃農地率	%	-	30.8	31.4	21.5	21.6	・B分類(山林・原野化した農地)、A分類(再生可能な農	・前年度との比較で遊休農地は増加したが、荒廃農地は減
					 補助金を活用して耕作放棄地から再生した面	ha	0.43	0.84	0.73	1.38	1 17	地)の面積とも前年度より増加 ・再生面積の年平均0.81ha(H30~R4)	少。 ・再生面積の年平均1.0ha(R元∼R6)
					情功並を活用して新作成来地から再生した面 積	IId	0.43	0.04	0.75	1.30	1.17	・被災地区荒廃農地利活用補助金1件(0.1ha)	・被災地区荒廃農地利活用補助金4件(0.68ha)
			11	農地流動化対策	利用権設定等促進事業(ストック)	ha	752.7	835. 4	862.9	904.4	980.0	・市内32地区で「実質化された人・農地プラン」作成支援	・市内33地区で「地域計画」の実現に向けた話合い
		イ 農業生産基盤の整 備と維持管理	12		農地流動化助成金交付	<u></u>	3, 272	90 2,560	107 2, 224	1,729	115 1,746	・農家相談会44回(農業委員会) ・(同右)	・農家相談会49回(農業委員会) ・県営土地改良事業では、事業実施者である県と地元との
				辰未土庄奉監堂佣		m	┃ ●・農地防災減災事業では、三才池	・農地防災減災事業では、三才池等のため池地震耐性評価	整・事業費の規定額を負担				
				NH LIBLEA (th N/ 55)	市単土地改良事業(水路)全長	m	1, 266	1, 427	1,612	2, 271	2, 572	・(同右)	・農業防災減殺事業では、軍足池等のため池地震耐性評価 ・市単土地改良事業では、緊急性の高い箇所から実施
			13	海水の味(辰業用排水機場の整備)	改修・更新に係る市単独事業	箇所	4	6	19	12	15	・ (同右) ・排水機場の改修、更新に係る市単独事業では、緊急性の高いものから10箇所実施 ・ (同右) ・ 17機場で現地待機、2機場で運転(9月下旬出水時)	・排水機場の建屋・構造物等の安全点検 ・排水機場の改修、更新に係る市単独事業では、緊急性のいものから15箇所実施 ・各排水機場の適正な操作・維持管理 ・9機場で現地待機計13回、5機場で運転8回(4月・11月出
													時)
			14	農地・水路等の適切な保全管理	国多面的機能支払交付金の対象面積等	ha	817	807	937	939	895	・農地維持支払5取組組織、面積130ha増加 ・資源向上支払2取組組織、面積76ha増加	・農地維持支払取組組織1減、面積44ha減少 ・資源向上支払取組組織増減なし、面積100ha減少
	③地域の特性を活		15	果樹振興(りん	りんご栽培面積	ha	1060.8	1,020.4	801.4	654. 5	639.7	・新わい化栽培1.1ha転換	・新わい化栽培1.0ha転換
2	かした生産振興 	産振興		()								・ 同右 ・ 半わい化栽培せん定講習会2回、面積0.5ha拡大 ・ 樹園地改植7.7ha(R3まで)	・新わい化栽培講習会32回 ・半わい化栽培せん定講習会2回、面積0.6ha拡大 ・樹園地改植8.5ha (R5まで)
也			16	果樹振興(もも)	 +,+,+,++; +,* +,* +,* +,* +,* +,* +,* +,*	ha	199.0	186.7	170.7	177.7	187.8	・新わい化苗木助成事業(補助109件0.8ha) ・(同右)	▼・新わい化苗木助成事業(補助7件0.2ha) ▼・低樹高栽培講習会2回、面積1.2ha拡大
D				大型版英(00)	O O MAN LINE	""	177.0	100.7	170.7	177.7	107.0	・樹園地改植0.4ha、継承0.2ha(H25~R元)	·苗木改植9.5ha
寺生を			17	果樹振興(ぶど	ぶどう栽培面積	ha	148. 7	144. 0	144.1	146.8	153.5		・シャインマスカット等の栽培面積7. 1ha増加
舌				(5)	ワイン用ぶどう栽培面積	ha	13.7	14.3	16.1	15.5	17. 2	】・(同右) 】・樹園地改植0.3ha ■・果樹高品質安定生産対策事業(ぶどう棚の設置・修繕1ha)	▼・平行整枝短梢剪定栽培技術の推進 ・ぶどう棚新設11戸1.1ha、ぶどう棚修繕3戸0.05ha ・新規就農者対象 栽培講習会4回開催
<i>,</i>			18	野菜振興	野菜作付面積	ha	330.8	326.8	308.8	294.3	268. 4		・生産計画等に基づき、地域特性に合った作物を導入
<u>.</u>			10	王/ 木]派 贝	対 木 F 1) 四 (模	IIa	330.0	320.0	300.0	294. 3	200.4	- (同石)	・野菜価格安定対策事業の農家負担金に対し、JAを通し補助金交付
			19	花き振興	花き作付面積	ha	24.3	26.1	23.8	23. 2	23.0	・技術研修会・検討会114回 ・生産農家15戸増	・技術研修会・検討会112回 ・生産農家13戸増
			20	きのこ振興	 きのこ生産量(長野市推計)	t	17, 668	18, 909	18, 486	15, 348	15, 510	・(同右) ・(同右)	・
												・目揃い会・品質向上に向けた検討会等10回 ・小規模農家への経営指導12回 ・(同右)	・目揃い会・品質向上に向けた講習会3回 ・機能性きのこ開発に係る関西大学と新技術確立に向けた 同研究
												・(同右) ・長野県農村工業研究所開発品種「長野農工研B-4号(ぶな しめじ)」への情報発信会、栽培試験	・経費高騰対策・長野県農村工業研究所開発品種「長野農工研B-4号(だしめじ)」へ切り替え・きのこの品評会

大項目	中項目	No.	小項目		現況等の							
	ア・主要農畜産物の生	1	(恒別事業ソート)	項目 水稲作付面積	単位	R2	R3	R4 1,394,4	R5	R6	R4 ・ (同右)	R6
③地域の特性を活 かした生産振興	ア 主要展留度物の主 産振興	21	小帕振興 	水桶1F171 国槓	ha	1, 422. 7	1,408.5	1, 394. 4	1,367.4	1, 338. 4		・大規模生産者を中心に転作を進め、主食用水稲の作付面 ² を減らして生産調整を推進
					経営体	7, 325	7, 115	6,896	6, 628	6,306	・(同右)	・農業再生協議会から農協の営農指導員等を通じ、主食用 に関する需給見通しの情報提供を行い、転作推進
											・令和4年産米における生産数量目安値達成	・令和6年産米における生産数量目安値達成
		22	地域奨励作物	地域奨励作物出荷量合計	t	638	623	700	684	782	・出荷量/小麦△74t、大豆+70t、そば+82t、枝豆△4t	・出荷量/小麦+28t、大豆+69t、そば+74t、枝豆△15t
		23	 	 市内畜産飼養農家数合計	戸	67	63	72	65	53	(H27比較) ・ (同右)	(h27比較) ・戸隠牧場の牛の預託頭数がR3から減少傾向
		23	など)	1	頭・群	4, 554	1	4, 525	3, 697	3, 634	・ (同右)	・戸隠牧場の草地改良10ha
		2/	<u> </u> めん羊振興(サ	市内めん羊飼養農家数	河 田	4, 334	4, 203	4, 323	3,097	3,034	・ (同右) ・ (同右)	・CSF(豚熱)・鳥インフルエンザ対策 ・繁殖農家による自給飼料を中心とした飼養
			フォーク)	市内めん羊飼養頭数	頭	266	279	280	305	236	・めん羊飼養農家2戸が高齢化により離農	米池依外にある日相別付き中心とした的良
<u> </u>	イ 中山間地域の生産	25	 中山間地域の農地	110111111	協定	92	92	93	94		・信更町涌池集落(新規認定)	 ・信更安庭集落(新規認定)
	振興		維持	集落協定面積	ha	394.6	401.0	405.5	406.9	405.7		
		26	中山間地域の生産	-							遊休農地を優良農地に6,299㎡復元(荏胡麻ほか)	・遊休農地を優良農地に4,936㎡復元(荏胡麻、水稲)
			振興								・ワイン用ぶどうの生産団体(3団体)への苗木・棚の購入補助	・荏胡麻の生産団体(2団体)への播種機等の備品購入補
Ī	ウ 安全・安心な農産	27		生物利用等環境保全型農業推進事業交付件数	戸	2, 362	2,340	2, 189	2, 015	1, 287	・環境にやさしい農業に取り組む農業者数が増加傾向	・環境保全型農業直接支払相談3件(内1件新規取組)
	物づくり		業の推進	 農業用生分解性マルチシート導入推進事業交	 -	111	115	101	108	92		・みどり認定前年比8件増 ・農業研修センター講座内で無農薬作物を栽培
	エ 災害対策・野生鳥			付件数								Section 15 = 1 Figure 15 - 17 Figure
		28	8 農業生産工程管理		件	19, 171	22, 119	22,080	22,050	21, 701	・(同右) ・(同右)	・栽培日誌の提出や残留農薬の検査等の定められた項目を施
				残留農薬検査件数 ************************************	件	163	180	193	175	173	(1514)	・不要となった農薬や、廃プラスチック等を農協が農家か
		. 20		放射性物質検査件数果樹共済掛金補助加入率	件 %	11.9	9.9	8.3	7.1	7.0	┃ ┃・果樹共済の収入保険への加入者移行等により、市の加入率	回収(不要農薬回収1回/年、農業用プラスチック2回/年) ・果樹共済の収入保険への加入者移行等により、市の加入
	エ 火告対象・封生局 獣対策	1 29	火告刈泉	* 例	/0	11.9	9.9	0.3	/. 1	7.0	が8.3%まで減少	が7.0%まで減少
								102	1/0	208	・ (同右)	・令和3年春の凍霜害対応として、農業者へ融資を行う融 関に対し、農業災害対策資金利子補給金交付(最終借入人
				収入保険補助対象数		_	_	102	160	208		12名)
												◆・令和5年春の凍霜害対応として、農業災害対策資金利子補金交付(最終借入人数15名)
				家畜診療所負担金飼育頭数	頭	344	344	342	315	309		並入1)(取修旧八八数13位)
											(51)	
		29	令和元年東日本台 風災害からの復	ì -							・(同右)	・農業公社、農業委員、農地最適化推進委員が連携して、 災農地の貸借マッチングを推進
		-	旧・復興								・(同右)	■・長野市農業祭や長野市地産地消推進協議会のスタンプラ
		30	 野生皀獣被宝防除	 有害鳥獣捕獲数合計	頭・羽	3, 051	3, 209	3, 350	3, 562	3 380	┃ ┃・若穂地区における侵入防止柵(国庫)1.92kmの整備補助(R4	リーにより、農産物等の販売支援 ・侵入防止柵(国庫)若穂地区1.295km及び信州新町地区
		"	対策	1 D Children SW Clai	JA, 33	3, 031	3,207	3, 330	3, 302	3, 300	年度末延長36.0km)	1.857kmの整備補助
											・緩衝帯整備7箇所・4.39ha ・(同右)	・緩衝帯整備8箇所・2.14ha ・新規従事者に対してくくり罠捕獲技術の研修会実施
④農産物の販売力	ア 販路の拡大	31		JA販売先別取扱高	百万円	10, 932	10, 233	10, 961	11, 136	12, 151		(JAグリーン長野)
強化と他産業との連携			る販売活動								・(同右)	・Aコープ3店舗と連携し、贈答・+小売販売対応のほか、ターネット販売強化としてJAタウンでの販売に注力
在135												(JAながの)
											・(同右)	▼・農産物公式オンラインショップ「たーんとながの」で年 ▼を通じた販売品目提案
											・ (同右)	・農産物直売所での各種イベント実施
		32	農家の直接販売	直壽所壽 上類	億円	22.5	21.9	20.6	22.1	21.5	▼・(同右) ▼・ふるさと納税返礼品申込30,184件	・Web 商談会の実施 ・ふるさと納税返礼品申込25,480件
			ジビエの活用	市内受入実績(イノシシ・ニホンジカ)	頭	633	782	827	887	950	・善光寺御開帳に合わせて長野県立大学の学生等と共創開発	・ジビエ活用個体への補助金見直し(200円増額)
											したジビエ料理の販売・PR、八幡屋礒五郎との連携事業、ジ	・試食会(中条地区)、長野県立大学の学生と開発した
											ビエ商品物産展でのトップセールスの実施等 ・市立小・中学校全校給食でのジビエ料理提供	▼工料理のふるまい(農業フェア、燈明まつり)▼・小中学校の給食でのジビエ提供及び保護者向けパンフリー
												トの配布
	イ 付加価値の向上	34	6次産業化、農商 工連携	特産品開発・加工支援(農業公社)	件	3	2	2	3	3	・(同右)	・農業者からの相談に関係機関と連携して対応 ・県が開催する商談会に関する情報提供
												【・地産地消協力店と生産者(長野市農業青年協議会)と(
												談会開催
		35	スマート農業	スマート農業用機械開発支援	件	-	1	1	0	-	・温度、湿度、土壌水分の観測及びデータ蓄積、栽培作業解	・温度、降雨量を含む7つの気象データを観測する気象も
				 スマート農業用機械等導入支援	件		3	7	l7	9	説動画作成・webページ制作 ・ももの生育状況撮影・観測データ分析	┃サーの設置 ┃・ドローンを使った果樹受粉等に関する実証実験の事前訓
											・(同右)	・同左
		36	農福連携	農作業体験(講習)会		2	6	7	5	5	・「農福連携のススメ」4回発行。 ・体験会5回、マッチング57回	・「農福連携のススメ」1回発行 ・体験会5回、マッチング75回
⑤農業・農村に対	ア 地産地消	37	地産地消の推進	地産地消協力店数	店	148	156	159	166	166	・学校給食栄養師を対象に果樹園の視察・ながのフルーツセ	・「おいしいながのスタンプラリー」キャンペーン開催・
する理解の促進											▼ンター見学・意見交換会実施 ▼・「おいしいながのスタンプラリー」キャンペーン開催(10	【~12月) ▼・第54回長野市農業祭をビッグハットで開催/来場者数8,
				直売所売上額	億円	22.5	21.9	20. 6	22.1	21.5	~12月)	人
										1	◆・第52回長野市農業祭をビッグハットで開催/来場者8,500人【(10月)	
	イ 都市と農村の交流	38	農業体験交流	農業体験参加者	人	191	136		219	170		・農業体験への補助金交付・参加者募集など準備事務支持
				都市農村交流活動年間参加者	人	10,344	8,555	l	13, 442	21, 442		
		<u></u>	11. 1 24 4 4 7 7 7 7	市内小中学校での農業体験実施延べ校数	校	181	182	188	194	187		F 四十曲白口为又作1、5、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1
		39	小中学生農家民泊 誘致	小中学校農家民泊受入数	^	0	106	853	1,560	1,854	・(同右) ・-	・長野市農家民泊予約センターにより受入れ窓口を一本イ ・新型コロナウイルス感染症の影響で激減した農家民泊の
			1,,,,,									入れ数が回復傾向
		40	市民農園(市民菜	市民農園区画数合計	区画	1, 414	1, 328	1, 252	1, 271	1, 244	・安庭と青池両市民農園の利用者募集チラシを近隣地区回 覧・農業研修センターに同チラシ配架	・安池・青池市民農園及び戸隠体験市民農園の利用者募集 ラシを作成、農業研修センターへ配架
			<u> </u>								見・展案研修セプターに向デブン配表 ・(同右)	・市ホームページや広報ながのの活用による市民農園利用
												の募集の周知
			1								<u></u>	